

校友会誌

かもめ

平成16年3月9日

発行

名古屋工学院専門学校校友会

名古屋市熱田区神宮四丁目7-21

<第 45 号>

IQの知能指数

会長 河合 末利

就職戦国時代 大卒者四人に一人が就職できない時代である。学歴、資格だけでは採用内定はもらえない。では、こんな時代をどう生きてゆくか…。

就職活動において大切なことは知識や判断力、応用や理解力といったIQ (Intelligence Quotient)、知能指数的な面であります。どんな職業に就いても相手の気持ちを理解する力、仲間をまとめリードする力、感情をコントロールす

己を変化せよ

校長 小川 明治

『生成』それは、ある状態から、より良い状態へと推移していく過程をいってされています。

ある心理学者が、こんな実験をしたそうです。大きな透明な水槽に水を入れ、一枚のガラス板で仕切りました。一方に魚のカマス泳がせ、他方に大好物のエサを入れました。当然、カマスはエサを食べようとしていました。しかし、カマスはガラスがあるためにエサを取れません。カマスは何度も何度もチャレンジするのですが、その度にガラスにぶつかって

る力が必要となります。つまり、EQ (Emotional Intelligence Quotient)、『こころの知能指数』が必要となります。簡単にいいますと詰め込み型の知識に頼らず問題を解決する創造的な発想とでもいいたしうか。

EQが高い人の共通点は、
・人柄の良さを示す笑顔
・ユーモア感覚
・協調性
・的確な問題意識
・機敏性と機転
以上のような点がうかがえます。

仕事に対する姿勢をIQとEQに分けますとIQは二十五%以下と言われている。対人関係の気配り、思いやり、しまいです。半日もすると、カマスはエサを取ることをあきらめてしましました。そんな頃に、ガラス板を静かに取り除いたのです。

しかしカマスは、ガラス板を取り除いても、二度とエサを取ろうとしなかったのです。

カマスは何度もエサを取ろうと挑戦しましたが、取れないために自分の能力では無理だとあきらめてしまったようです。しかし、状況は明らかに変わっています。カマスは、そのことに気付いていないのです。

カマスの諦観が、その後の動きを止めてしましました。変わるうとしないカマスの姿がそこにあります。皆さんのなか

自己をコントロールする感情知識が決定的に重要であります。

私の好きな言葉の一つに「人間が生き残るためには、本質的に新しい考え方が要求される」があります。物理学者のアインシュタインの言葉ですが、EQを言い当てていると思います。私は、この言葉をいつも頭の片隅に置いています。

好きな言葉はと問われたとき、単純簡略化して『忍耐』と『寛容』と答えています。

皆さんもEQにもつながる言葉を見つけ、人生を生き抜いていくための手掛かりとしてはいかがでしょうか。

に、このカマスと似たような状態の人はいませんか。

あのアリストテレス、『…変化してこそ可能へ至る…』という名言が、今、ここに甦ります。

皆さんを取り巻く『環境』、『時代』、『変化』、『さらには』、『能力と経験』は進化していきます。『変化によるリスク』も、変化しないことによるリスクのほうが大きい』と言えます。

今日まで、よりよいものを求める向上心が、文化の発展を生んできました。卒業生の皆さん、在校生の皆さん、どうか、勇気と自信をもって、以前の自分から脱皮して、変化してみてください。期待しています。

【ご挨拶にかえて】

『静的能力』と『動的能力』



理事長
水野 恒治

風が誘つ春です。新しいスタートの春です。皆さんの大半は、それぞれの途で社会人となられます。

長引く景気の低迷から、就職戦線は厳しい競争環境となり、就職へのハードルは大変高い時代になりました。

社会が求めているのは、自分の頭で考え、体を動かす、チャレンジ精神が旺盛な人です。どのような時代であってもこうした部分をもっていることが大切であります。

就職は、専門学校や大学の入試とは全く異なるものです。入試では知識つまり静的能力が重視されましたが、社会では、それに加え人間性、つまり動的能力を加えた総合的な能力が求められます。具体的に言いますと、基礎学力があるかないか、常に自分で考え表現し、行動しているかどうか、輝く個性があるのかの三点であります。

就職試験では、筆記試験に加え面接試験が重視され何度も繰り返し返されるの

は、以上の三点をあらゆる視点から見よつとしているからなのです。

どんな職業に就いても自分の技量を高め、知識を増やし、より多くの人々に信頼され、社会に貢献できる力量を身に付けよつと最後まで努力し続ける姿勢こそが肝要であります。

「あなたはどんな人ですか」と問われたとき、「私は責任感が強い」或いは「私には協調性がある」などと抽象的な表現をしていませんか？ 社会では具体的な「責任感の強さ」や「協調性」が求められます。

二十一世紀を担う皆さん一人ひとりが、常に考える習慣を身につけ、自信と目標を持ち、輝く「個性」を表現し、その「個性」を力強さに欠けることなく、社会のために役立てていただきたいと思つていきます。

社会は、学問性静的能力と人間性(動的能力)を総合的に評価しています。今までの自分を一度振り返り、長所や短所と向き合い、徹底的に自分を探り、改めて自分自身を認識することによつて、自己を正確に分析することができ、自分の力を最大限に発揮し、社会に貢献奉仕する出発点が自己分析と言えましょつ。

自己を知り、社会を知り、より成長されることを心から願つております。

『人間型ロボットに想つ』

メカトロニクス系主任 村岡 好久

来春3月、愛知万博が開催される。博覧会では常に次世代を見越した最新の技術が登場する。今回その主人公は第三次産業で活躍するロボット達によつた。かつては大阪、つくば博でもロボットは登場したが、今回は趣が違う。

日本は高齢化率や進度から言つて世界でも希に見る高齢化社会の国である。一方、近年のロボット技術の発展は目覚しく、研究レベル、研究者数から言つて世界の最先端を行くロボット王国である。そこで高齢化社会が抱える問題解決の主役として、ロボットが脚光をあびてきた。

経産省によれば、生活支援、介護福祉などのロボット産業は二十一世紀のリーディング産業と位置付けられている。果たしてロボットは社会をどのように変えていくのだろうか。

先日、ある町工場の主人に話を聞く機会があった。自動車の精密部品の研磨職人で、この道四十年である。ある大手自動車メーカーに納めているという製品の一部を見せて頂いたが、製品精度は物によつては数十ミクロンという単位で要求されるといふ。

長年の研ぎ澄まされた感覚と手先か

ら生み出されたその美しい曲面は、まさに職人のなせる技を感じた。差し出されたその手は、既に指先も爪も製品加工用にと変形していた。

一瞬、ここにはどんなに進んだロボットも入り込む余地はないと思つた。それは要求される精度や、ロボットには無理と思えるほどの加工品の複雑さからではない。一生をかけて築きあげられたこの職人の技術に、人が生きると言つた姿そのものを見たのであり、どんなに進んだロボットもこの職人の人生という代役までも努めることはできないと思ふからである。

いつの時代もそうだが、人間は自らがつくった機械と共に社会を生き、そして変え、生活の豊かさを獲得して来た。

やがて人々は分身のようなマイロボットを持ち、共存するという夢のような時代がやってくるかも知れない。そんなれば車やコンピュータが社会を変えたように、ロボットも社会を変えるだろう。だが、たとえ心を持ったようなロボットであっても、人の代役はできないのである。

それゆえに人間に似て非なるロボットの出現は、人間に改めて生きることの意味を教えてくれるのではないだろうか。そつあつて欲しいと願つ。人間型ロボットはギリシャ神話まで遡る人類の夢なのである。

平成十五年年度

校友会賞受賞者

平成十六年三月九日、校友会から卒業クラスにおいて、技術・技能に優れている25名が表彰されます。

- 情報通信研究科 藤井 嵩
- 情報通信学科二年 渡邊 実
- デジタル技術学科二年 塩見 雄一
- メディアネットワーク科二年 南 昌吾
- 情報総合学科四年 内藤 隆志
- 情報システム科三年 大石 紘司
- 情報処理学科二A 脇田 剛司
- 情報処理学科二B 椿山 浩司
- パソコンエキスパート科二年 松原 幹弘
- ITスペシャリスト科二年 永田 直希
- マルチメディア科四年 佐藤 俊介
- コンピュータグラフィックス科三年 木野 賢治
- ゲームサイエンス科三年 高辻 宏行
- コンピュータミュージメント科二年 山本 龍
- 音響映像学科二年 伊藤 健
- 放送学科二年 鏡味 弘晃

総合制御システム科三年

- 寺西 零司
- 機械CAD設計科二年 木下 博貴
- 制御工学科二年 野村 宙士
- 電気工学研究科 箕浦 大悟
- 電気工学科二A 村上 耕平
- 電気工学科二B 栗木 正宏
- 電業技術学科二年 有竹 登士弥
- ビル管理学科二年 市村 強
- 電気工事士科 二本木 寛利

二十五期校友会常任役員

- 会長 河合 末利
- 副会長 森 勝行
- 副会長 坂田 和義
- 書記 武田 善之
- 会計 池戸 博行
- 幹事長 伊与田 茂
- 幹事 杉村 行雄
- 幹事 栗田 孝義
- 幹事 井東 秀樹
- 幹事 村岡 好久
- 幹事 根岸 雅巳
- 幹事 尾上 行男
- 幹事 杉村 博行
- 幹事 田中 和彦
- 会計監査 内山 長久
- 相談役 小川 明治
- 参与 加藤 周三
- 参与 小川 孝

各支部担当

- 東京支部 坂田 和義
- 大阪支部 伊与田 茂
- 三重支部 森 勝行
- 富山支部 土肥 和紀
- 石川支部 林 寛幸
- 福井支部 松岡 昇
- 四国支部 倉田 豊行
- 沖縄支部 堀内 豊



退職・移動された先生方

- | 年月日 | 先生名 |
|---------|----------|
| 15・3・31 | 小川 孝 先生 |
| 15・3・31 | 木学 一穂 先生 |
| 15・3・31 | 岡本 真樹 先生 |
| 15・9・30 | 小峯 秀一 先生 |
| 15・4・1 | 瀧田 龍晃 先生 |
| 15・4・1 | 馬場 学 先生 |
| 15・10・1 | 栗田 孝義 先生 |

ご結婚おめでとう
ございます

次のみなさんは平成十五年一月から平成十五年十二月末までにご祝宴を挙げられました。心からお祝い申し上げます。
(敬称略)

篠宮 鉄兵 3月15日 挙式・焼津市

(平成14年3月・電波通信研究科卒)

高橋 孝史 4月26日 挙式・滋賀県

(平成7年3月・電波通信研究科卒)

田中 賢一 6月15日 挙式・名古屋

(平成8年3月・電子工学研究科卒)

清水 義徳

(平成5年3月・情報処理学科卒)

10月4日 挙式・知立市

水本 千香子

(平成12年3月・インターネット科卒)

橋本 浩一 11月9日 挙式・横浜市

(平成9年9月・電子工学研究科卒)



平成十五年度

母校のおもなできごと

工学院二号館の改修工事が終了し、四月から新しい教室で授業が行われている。やはり新しい建物は気持ちのいいものだ。吹き抜けのある明るい玄関ホール、バリアフリーに改良された床、各教室に張り巡らされた情報端末などメディアセンターの貴重なコンピューターも移設された。二号館、一号館と改修工事が行われてきている。18歳人口低下の厳しい時代、本校も改革途上である。

- 4月10日(木) 入学式
- 4月11日(金) 始業式
- 4月20日(日) 情報処理技術者試験
- 4月24日(木) 第一回・県人会



5月13日(火)～11月13日(木) 昼間部社会研修会/学科のブロックごとに、日程を分散して研修が行われた。今回、マルチメディア系は9月に行われた東京ゲームショウに参加する形式で行われた。本校もブースを設けて学生の作品等を出展した。

- 5月16日(金) 第一回・企業説明会
- 5月18日(日) 工事担任者試験
- 5月31日(土) 寮対抗球技大会/今年のボリング大会での優勝者は第二伝馬荘の別役 美保さんだった。学生寮には本校に限らず他校の学生も多く、別役さんは名古屋デザイン専門学校で生である。



6月5日(木) 第二回・企業説明会
6月8日(日) 第一種電気工事士筆記試験
7月4日(金)～21(月) 現地保護者会/長野・松本・金沢・飯田・尾鷲・福井・富山・宮古・名護・長浜・那覇・浜松・静岡・沼津・高山
7月21日(月) 電気通信主任技術者試験
7月22日(火) 23日(水) 第一級陸上無線技術士試験
7月24日(木) 25日(金) 第一級陸上無線技術士試験
7月27日(日) 第二種電気工事士技能試験
8月23日(土) 第一種・第二種電気主任技術者試験(一次試験)

- 8月23日(土) 第一種・第二種電気主任技術者試験(一次試験)



8月24日(日) 第二種電気主任技術者試験/「とつとつやりました!」本校在生におけるこの資格の取得者が十年連続50名以上となった。一言に十年と言えるが、継続することは大変なことだ。先生方お疲れさま。
9月16日(火)～19日(金) 第一級第二級総合無線通信士試験/昨年3月に行われた試験と合わせると、第一級には2名、第二級には1名の学生が合格した。科目の多い試験、完全合格までには難関である。
10月5日(日) 第一種電気工事士筆記試験
10月19日(日) 情報処理技術者試験

- 10月19日(日) 情報処理技術者試験



本年度は4月に行われた試験と合わせるとテクニカルエンジニア(ネットワーク)に2名、情報セキュリティアドミニストレータに2名合格した。最近では各社が行うベンダー資格も行われておりオラクル社の最高資格のプラチナに1名合格した。写真は合格した情報総合学科4年、近藤 昭仁君。

(5)

10月21日(火) 体育祭/優勝(同点)は電業技術学科二年と電気工学研究科3位は電気工学科二年B組であった。毎年、雨がつきまとう体育祭。今年は大丈夫かと思われたが、やはり昼から天気予報通りの雨が降った。午後の種目が無くなつた影響もあるのか、上位7位までを電気設備系学科が独占し、10位までに8クラスが入るといふ結果であつた。



10月25日(土) 26日(日) 学園祭ノ今年のテーマは「彩」(いろどり)であつた。低迷している社会情勢の下で活躍するためには人並みに行動するだけではだめであり、各自が切磋琢磨し、輝く自分を思い描けるよつとといふ願いを込めて付けられたテーマである。新しい一号館での初めての学園祭。みんな汚さないよつとに気を付けていたとか。



11月2日(日) 第十八回・全日本学生マイクロナウス大会ノ今年の結果は優勝、準優勝、四位といふ成績であつた。東京大学、東京理科大学、東京電機大学のエントリーもあつたが、それら大学勢を抑えての七年連続、八度目の優勝であつた。学生界ナンバーワン!



11月13日(木) 14日(金) 第十九回・全国専門学校卓球選手権大会ノ男子シングルスにおいて中西 章暢君(電気二A)が準優勝に輝いた。また、男子ダブルスでは小串 健二君(電気工専土)参加のペアが準優勝、中西君参加のペアが3位となつた。また団体戦では梅山 貴文君(電気一B)参加の愛知県Bチームが3位と検討した。本校卓球部は毎年全大会出場を果たす強豪校である。



12月20日(土) 21日(日) 第十二回・全国専門学校ロボット競技会ノ今年度の運営は工学院が担当した。結果は自律型ハードウェア部門において2年連続優勝を果たし、同時に文部科学大臣賞も受賞した。また準優勝も本校から参加したマシンである。また参加したロボットのポイント数の合計で決定される団体戦では、2年連続団体優勝という快挙を成し遂げた。ロボットで本校の右に出る学校は無い!



11月16日(日) 工事担任者試験
11月22日(土) 23日(日) 第二十四回・全日本マイクロナウス大会ノ世界各地からエントリーがあり、佐藤先生のマシンが出場し十一位となつた。日本人の中では四番目という成績であつた。やはり世界の壁は厚い。
11月23日(日) 第一種・第二種電気主任技術者試験(二次試験)
12月7日(日) 第一種電気工事士技能試験

1月8日(木) 9日(金) 第一級陸上無線技術士試験
1月10日(土) 11日(日) 第二級陸上無線技術士試験
1月20日(火) 第二回・県人会
3月9日(火) 茶話会
3月10日(水) 卒業式
3月12日(金) 終業式
3月22日(月) ~ 25日(木) 第一級第一級総合無線通信士試験

進化するIT教育！

『進化するIT教育！』

本校が情報教育を始めてから数十年、電子計算機から始まったコンピュータも今や当時から考えられない程の処理能力を個人レベルで使用できるようになった。それに伴い、必要とされる技術(技術者)も驚くほど幅広いものとなった。

現在コンピュータ系学科の学生が目標としている資格には、経済産業省主催の情報処理技術者試験、各種分野でトップシエアを誇るベンダー企業の認定資格などがある。技術の数だけ資格は存在する。そして「常にトップクラスである!」を合言葉に、日々様々な資格取得に取り組んでいる。今年度の資格取得実績としては、基本情報技術者18名、ソフトウェア開発技術者10名、テクニカルエンジニア3名、MCP6名、CCNA5名、オラクルマスター52名と各分野の資格取得実績はますますの成果をあげた。特にテクニカルエンジニアは合格率が受験者全体で5%という超難関資格であるが、本校では4年間絶えず合格者を輩出している。これら多くの資格

取得対策として、近年から取り入れているのが「WB T」といわれるものである。「WB T」とは「コンピュータを使用した授業の一形態であり、本校のコンピュータ系学科では全学生にノート型パソコンを貸与しているため可能となっている。情報処理技術者試験一つにしても範囲が膨大となり、テキスト、プリントだけでは追いつかない量の勉強が必要となるが、「WB T」を使用することにより、いわゆる「ペーパーレス」を図りながら効率良く学習を進めることが可能となった。

試験対策だけでなく、各種ベンダー技術のトレーニングにおいても従来の「板書」ではなくこのシステムを有効活用している。また、ノート型パソコンを貸与していることにより就職活動において重要な「企業研究」も効率よく行うことができている。さらに、インターンシップを積極的に取り入れることにより、IT関連企業の実習を通して、企業とは何か、仕事とは何かなどを就職活動前に学ぶことができ、在校生には大きなメリットを与えている。世の中のIT化は日進月歩であり、必要とされる技術者も多岐にわたる。それに対応すべき、工學院のIT教育も絶えず進化している。教育内容だけでなく教育環境も進化している。来るべきその時に備え、準備は万全である。

(システム太郎)

今年も『工事担任者アナログ・デジタル総合格種』に、全員合格だ!

情報通信系デジタル技術学科では、『工事担任者アナログ・デジタル総合格種』の認定講座が総務省より許可され、平成十二年度から行われている。それまでは、年に2回実施される国家試験を死に物狂いで勉強し、受験をしていた資格が、この認定講座により、ほぼ6ヶ月間の勉強で取得できるようになった。

そんな価値ある資格を、平成十四年度認定講座で、デジタル技術学科二年生に在籍する28名全員が取得をした。100パーセントの合格者であり、これはまさしく驚異的な数字である。

認定講座が許可になり、平成十二年度在籍の31名全員取得から、今日まで全員取得が継続している。

この資格の取得者は、有線通信技術者として、職場や仕事上から広く求められている。

卒業生や、関係業界の方が聞いたらきっと嫉妬をしまいそうな、ちょっとした事件なのである。

次の時代を担うエンジニア育成のため、今年度も、平成十五年認定講座が去る9月8日から行われている。

(デジタルジ)

『更にパワーアップ電気設備系』

今年の電気設備系は、更に超パワーアップした。何が超パワーアップかというところ、先ず体育祭の結果である。

体育祭はじまって以来の結果ではないかという事態が発生した。今年度の体育祭では総合優勝以下上位独占という恐るべき結果である。

電気工学研究科・電業技術学科二年が同率で総合優勝、3位・電気工学科二年B組、4位・電気工学科一年B組、5位・電気工学科一年A組、6位・電気工学科二年A組、7位・電気工学科と1位から7位まで総なめであった。優勝したクラスは、優勝カップで祝杯を挙げたそうなの??

続いて第3種電気主任技術者試験(電験3種)61名取得という結果を出すことができた。しかも、この結果は10年間連続して50名以上という恐るべき結果である。関係学科では、この成果に大喜びであった。K先生は、教室の学生の前で万歳三唱の後、泣き出したのか??最後に、就職決定状況である。就職難と言われる昨今であるが、今年度は昨年以上に力(リキ)が入り、優良企業に内定者が続出した。研究科の学生は、学級担任の先生が鬼に見えたり仏に見えたりしたそう。

(デンシエンマン)

(7)

『楽しませる技術』

寝食を忘れ、筋肉痛になるまで連打し、全てのコマンドは指が覚えていて。身に覚えがあればゲーム中毒である。

ゲームやマルチメディアを楽しむ人が増え、今や当然のものとなったが、その市場を支える「楽しませる技術」は、イメージ以上に高度な技術で、規模に比例し、多くの人の手を必要とする。

工学院にも、その技術を目的に数百人の学生が在籍しているが、その習得は厳しく、努力と訓練の繰り返しを必要とする。本当にゲームの好きな学生は、寝食を忘れ、マウス持つ手が痺れるまで、技術を学んでいる。

努力は実るもので、東京ゲームショウでゲーム作品が好評を受けるなど多くの作品が社会に認められるようになった。カラオケの背景画像でおなじみの学生CG作品はTV番組にも起用されるようになり、テレビ愛知の「映像の大将」が工学院の学生CG作品を紹介する内容で制作された。また、㈱ニューギンのパチンコキャラクターデザインなど、多くのコンテストにも入選するようになった。ゲームプログラムの実力も認められており、ゲーム会社と業務委託している学生もいる。

楽しませる技術は、きつと楽しい。

(トリプルクリック)

『学生寮に全室エアコン完備』

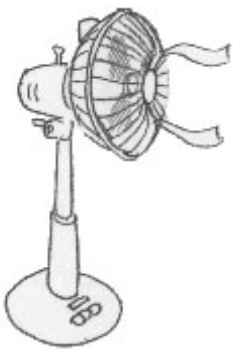
本校の学生寮である明治寮、明治寮北館の全室にルームエアコンが完備された。この学生寮は昭和四十八年に新築されたものである。

当時の学報には、「待望の明治寮の誕生である。既報のように本校の学生寮が完成し、この三月に竣工。装い新たに輝かしい一ページが飾られた。この近代的な学生寮を明治寮と呼び、南区明治町に建てられ全長80メートル、建築面積682平方メートルのマンモス寮であり、鉄筋五階一部六階建て住居数は154である。」と書かれており、それまでの学生寮のイメージは一変された。

また、これまでに例のない超大型学生寮の誕生に見学者も驚いた様子である。寮生活では、学生達が将来の夢、希望などいろいろな話を咲かせ、夜遅くまで語り明かしたことを思う。

この学生寮にルームエアコンが完備されたことにより、一層快適となった寮生活の中に新しい青春の思い出が刻まれることだろう。

(コム)



『音響認定試験に挑戦』

社団法人日本音楽スタジオ協会主催によるJAPRSサウンドレコーディング技術認定試験の受験に十五年度より挑戦することになった。結果的には、29名の認定者を出すことができた。次年度は、受験者をさらに増やして、認定者50名を目標に指導して行きたいと考えている。今回、準備期間が短かったこともあり、次回は早めの対策を取ってきたい。これで現在、日本ボストプロダクション協会の映像音響処理技術者資格認定試験に加えて、二つの資格取得を目指すこととなった。簡単に言えば映像の資格と音響の資格の認定試験である。映像と音響のプロレベルの試験を受験し、確実に知識を得ればレベルは上がることは間違いない。放送系の学生にとって、これらの資格は最低限必要な業界資格といえる。

この資格を取得して、学生が自信を持つことにより質の高い作品作り、コンテストへの参加も可能になるものと思う。現在では、まだまだ満足できるレベルまで達していない。資格試験からチャレンジして実践していくことが、結果に結びつくと思っている。基本ベースを着実に身につければ、驚くようなコンテスト作品ができるだろう。

(HOUSOU・M)

『ケンケンに感謝状』

四足ロボット「ケンケン」。二千年三月吉日20時30分、ロボット室で産声をあげる。性別不明。犬か、馬か定かではないが、歩き方からするとどうも犬である。足一本が、二百自由度という不自由さにもめげず、西に東へと宣伝活動に奔走している。歩行途中でひっくり返って見せるなど、笑いをとることも忘れない。とにかく丈夫である。月平均2回ほどの出演依頼があるが、いやだと言って困らせたことが無い。メーテレ祭ではあの腕白たちを相手に20回もの出演に耐えぬいた。また、ある障害者施設を訪れたときは、施設長から感謝のお言葉を戴き上機嫌、そしてつい先頃、新聞の一面をカラー写真で、その容姿を堂々と披露した。多忙極まり、近くケンケンジュニアの誕生を望んでいるとか。

人気の秘密？それは「自由度」という不完全性が逆に人の心を捉えているのかな。一方、ケンケンとは対極に位置するのがマウス。こちらは完全性の追求。今年も他を寄せ付けず7年連続優勝として強いかつて、もちろん学生の頑張りだが、勝ちパターンを学生が知っているからかな。是非あやかりたいものだ。マウス同様、今年はケンケンにも感謝状を捧げたい。「あなたは今年も元氣一杯頑張りました。ありがとう。」(ロボ吉)

工学院

五七五

七七七

応募総数52首 教職員の投票により、25首を決定し、高得票順に掲載した。なお、多人数の作品を掲載するため、重複者には遠慮して頂いた。

今年度は、星野タイガースが優勝したこともあり、「夢」や、定例の「体育祭」、「学園祭」などの首題が多かった。

合格の喜び告げる 学生の
嬉し涙に つい貰い泣き
尾上 行男

我が母校 今は息子の 学び舎(や)に
親子二代が 同じ夢みて
武田 善之

新校舎 ひそひそ話 できません
みんなに聞こえる
オープンキャンパス
大石 建児

阪神に 夢を与えた 星野さん
是非来てほしい 工学院に
加藤 穰治

仕事終え 一人静かに 帰り道
見上げた空に 一粒の雪
世古 哲也

電験に すべてをかけた 2年間
勝ち得たものは 資格より多き
小林 真治

親父キヤグ みんな笑って いるものの
実は笑顔が 冷めている
古市 雅邦

炭火焼 学祭バザーに 人だかり
拡がる匂いに 冷酒一杯あればと想つ
長崎 誠

人生は やり直せない 再びと
その日その日が 一本勝負
倉田 豊行

1〜7独占 電設系の ヘルメット
跳んで跳んで 回って回る
中野 裕史

何事も やり抜く気持ち 大切に
明日を信じて 今こそ実行
安藤 裕紀

来られない 学生相手に 電話する
発信履歴に プライベート無し
谷口 順一

休憩時 窓から聞こえる 学生の
奇声はうちかと 顔を見あわす
木下 幸弘

学び舎の トンツの音 響くのも
残り一年 時代の流れ
村瀬 徳高

年賀状 メールで届く この時代
日本の風情は 色褪せてゆく
松岡 昇

慕張で 去年の2倍の ブースから
全国向けての 工学院へ
荒井 智博

もがいたら 少しは浮上 するものと
願いは届け 我が戦闘船
真野 雅彦

体育祭 頭と体の ミスマッチ
ゴール目指すが 足空回り
隈元 良一

支部の会 今年も会えた うちなんて
もっと広げよ 支部のつながり
堀内 豊

優勝 やつと掴んだ 栄冠に
涙溢れる 担任の顔
高須 真人

資格受験 補習やれども 悔い残る
なんと悲しい 担任業務
各務 敏彦

いにしへの 古都に思いをはせつつも
明日は日直 日帰り旅行
石黒 英二

新校舎 設備環境 アップして
教える声も ボリュームアップ
岩井 敬典

就stod難 めげる学生 励まして
再々再々 Challengeだ!
吉戸 健朗

学園祭 売り込みの声 こだまする
どちらかを見ても 模擬店だらけ
土肥 和紀



学園あれこれ 二〇〇四

厳しく、暗い世の中だというのが、日本の生活水準は世界のトップレベル
 幸せではないか。こんな小さな楽しみ『マイブーム』を持っているのだから。

『自分的には、わたし的には』という
 言回しが、物議をかもししたが、似たよう
 な言葉に、『自分の中では』というのが
 ある。これは昔から用いられているのだ
 が、最近その使い方に首を傾げることが
 多くなった。吾輩もいよいよ若い世代に
 ついて行けなくなつたのか。まあ、ここ
 では、その是非は国語の専門家に任せて
 おくとして、皆さんの『自分の中』を覗
 いてみるつもりだ。

自分の中の楽しみ、それがマイブーム
 自分だけの、また、気持ち共有する仲
 間だけとの楽しみ。

有形・無形、スポーツ・文化、長期・
 短期、色んなものがマイブームになる。
 今や、「あなたの趣味は何ですか?」
 ではなく、「君のマイブームは?」って
 感じだ。しかし、皆がやるようになった
 ら、それは単なる流行であつて、『マイ
 はつかない。だけど、それでも良いじゃ
 ないか。こっそりと、ひっそりと、明る
 く、暗く自分だけの悦に入る。

おや?そこに行くのは松岡先生
 「今日も趣味の溪流釣りですか。以前
 いただいた、岩魚の骨酒とっても美味

でした。また今回も、ウヒヒヒ・・・」
 と、その時、狩猟民族の末裔であるはず
 の彼の口から意外な言葉が。「拙者、こ
 れまで釣つた魚は全て胃袋に納めて来
 たが、もう殺生はやめじや。これからは
 清く正しくキャッチ&リリース、釣果は
 デジタルデータに納めるのだ。」
 本当に骨酒、塩焼と決別できるや否や。

その塩焼き大好きの倉田先生が最近
 はまってしまったもの。それは武道三味
 ならぬ焼酎三味。九州各地の逸品を求め
 芋か麦か、はたまた蕎麦かと吟味奮闘中。
 誰か蘆薈を聴いておくれ。

こちらは、辛党で知られる村岡先生
 忙殺されそつな毎日の業務に正面から
 立向かう姿は圧巻である。エネルギーの
 源は、何と蜂蜜、ファイト一発の踏ん張
 りどころで、蜂蜜をベチヨベチヨ舐めは
 じめる。その姿は、行燈の油を舐めるネ
 「娘を連想させる。昼と夜では燃料が違
 うんだなあ。」

池戸先生、真野先生の昼食は仕出弁当
 新人時代より指名業者を変えることな
 く二十有余年。よくもまあ飽きもせず、
 ここまで続くものだ。今日のおかずは

またいつものワンパターン。これはブー
 ムというより、値段に負けての忍耐か、
 それともただの面倒くさがりと言つて
 きなのか。

さてこちらは、弁当持参組、かつては
 食後の一服が至上の喜びであつた時代
 は遠い昔。最近では煙も出せず、代つて
 水しぶきが揚る。職員室横の炊事場では
 弁当箱洗いの順番待ちに長蛇の列。なん
 と若手に混じつて公家の坂田卿(前々号
 で紹介)も並んでおられる。一号館はア
 ライグマ大繁殖中。きつかけは、清水先
 生が結婚できたことにある。派手な弁当
 を広げるだけでは物足らず、片付けの時
 まで「結婚できたパフォーマンス」を繰
 り上げているのである。いつまで続くか
 見ものである。

あつ、今思い出した。その昔、結婚直
 後の真野先生がハートマークで彩られ
 た弁当を隠れてこっそり食べていると
 ころを一回だけ見たことがある。

最近、杉村博行先生が休みの度に奈良
 京都方面へ愛車の真赤なレンジローバ
 ーを駆つてお出かけになる。巷の雑踏か
 ら暫し離れて癒しの旅である。

安藤春行先生も意外と旅行好き。十年
 前から少ない小遣いをこつこつ貯めて、
 いざヨーロッパ旅行への夢叶つ。しかし
 奥さんを誘つても断られ、二人の娘さんを
 誘つても断られ、結局独りで成田からテイ
 クオフ。

何も遠くまで出かけなくても近所に
 も良い所がいっぱいあるさよ、ビデオ片
 手に駆回る森下先生、地元のパラソニー
 アで『ビデオカメラの撮り方』の講師と
 して活躍中である。

小林先生が卓球部顧問に就任。毎日
 ピンポン、ピンポン。気分は温泉郷の卓
 球場。

「おい、誰か浴衣持つて来てくれ。」
 無視する部員達は冷めた表情で黙々と
 練習、全国大会で準優勝した。

高須先生は学園イベント委員長。今
 デコレーションに凝っている。何でも手
 当たり次第に飾りたがる。去年の年末か
 ら年始にかけて、一号館を丸ごとイルミ
 ネーションでデコレーションしてしまつた。
 国道一号線から見るとその光の芸術は、寒
 い夜空に心の灯をともし、校舎の壁面を
 はらはらと舞い落ちる光の雪、その名も
 『雪華』。高須先生と担任クラスの電業
 技術学科二年生の卒業制作となつた力
 作である。

インターネットで『マイブーム』を
 検索したら39100件もヒットした。
 ちなみに吾輩のマイブームは、朝起き
 抜けにクエン酸を溶かしたコップ一杯
 の水をおおる事。

校友会員諸兄はどんなマイブームを
 お持ちかな。よろしければお教えいた
 きたい。工学院HPの校友会コーナーで
 お待ち申し上げます。(良)

平成14年度 校友会収支決算書（一般会計の部）

収入の部 合計金額 5,138,326 円
 支出の部 合計金額 5,138,326 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	1,118,316	会誌発行費	271,179
校友会活動費	2,020,000	特別会計	550,000
預金利息	10	支部結成維持費	1,032,248
校友会総監発刊費より借入	2,000,000	講演会費	12,000
		学園祭協賛費	0
		援助費	5,000
		慶弔費	7,148
		備品消耗品費	0
		通信交通費	3,070
		校友会賞費	59,068
		会議費	0
		行事記録費	0
		会長交際費	23,840
		校友会総監発刊費に返済	2,000,000
		次期繰越金	1,174,773
合計	5,138,326	合計	5,138,326

平成14年度 校友会収支決算書（特別会計の部）

奨学金特別会計

収入の部 合計金額 33,599,897 円
 支出の部 合計金額 33,599,897 円

収入の部		支出の部	
科目	金額	科目	金額
前年度繰越金	3,597,294	奨学金貸付金	2,221,000
奨学金返金	3,274,000	貸付繰越金	18,827,000
一般会計から	0	事務・通信費	9,700
預金利息	1,603	次年度繰越金	4,642,197
貸付繰越金	18,827,000	奨学基金	7,900,000
奨学基金	7,900,000		
合計	33,599,897	合計	33,599,897

平成十四年度

校友会事業経過報告

年月日 事業内容

14・6・3 校友会常任役員会開催

14・6・29 校友会支部長総会開催

14・9・14 校友会沖縄支部総会開催

14・10・8 校友会奨学生に奨学金
貸与(4名)

14・10・21 校友会奨学生に奨学金
貸与(1名)

14・11・22 校友会東京支部総会開催

15・1・29 校友会奨学生に奨学金
貸与(1名)

15・3・7 校友会賞賛賞者決定・
授与(28名)

15・3・7 校友会誌「かもめ44号」
発刊

15・3・31 同会誌(二五二通)発送

14・4・15・3 校友会館運営

各支部長

および支部連絡先

東京支部長 新川 美浩

五十六年第一部電波通信学科卒

勤務先・警察庁

連絡先・新川 美浩

自宅・千葉県千葉市美浜区高洲

四一一四三〇五

電話・〇四三(二七八)九〇二五

大阪支部長 三浦 耕一

四十九年第一部電子計算実務科卒

勤務先・

日本システムティベロップメント(株)

連絡先・三浦 耕一

自宅・大阪府河内長野市大矢船南町

三六八

電話・〇七二(六五)一六〇二

富山支部長 山口 勇

三十四年第一部本科卒

連絡先・山口 勇

自宅・富山県魚津市新宿八二二

電話・〇七六五(二二)二〇九六

石川支部長 坂本 守

五十二年第一部電子工学科卒

勤務先・(株)エフエム石川

連絡先・坂本 守

自宅・石川県河北郡内灘町向栗崎

五九八 一

電話・〇七六(三三七)四五七八

福井支部

(活動休止中)

三重支部長 瀬崎 雄司

三十七年第一部電気通信科卒

勤務先・進栄電子(株)

連絡先・積木 肇

勤務先・中部三菱電機商品販売(株)

電話・〇五九(三三七)二二七九

四国支部長 松浦 正昭

三十四年第一部本科卒

連絡先・松浦 正昭

自宅・香川県綾歌郡綾南町滝宮

一四〇六 五

電話・〇八七八(七六)〇六〇七

沖縄支部長 上原 盛善

四十九年第一部電波通信研究科卒

勤務先・国土交通省大阪航空局

那覇空港事務所

連絡先・上原 盛善

自宅・沖縄県豊見城市且保四四

豊見城住宅四 三〇二

電話・〇九八(八五〇)四五四六

校友会ホームページ

卒業生のための情報交換用ホームページが本校のトップページから閲覧でき

ます。 (<http://www.denpa.ac.jp/>)

このページには、「卒業生と教職員の

メール情報」「同窓会連絡」「支部総会

連絡」「掲示板」「メールマガジン」「会

誌」「かもめ」などが掲載されており、

卒業生相互の情報交換ができるページ

となっております。

卒業生のメッセージを次に抜粋する。



投稿者 高木 悟
もうこんな季節？

昨日、仕事を終えて家に着くと玄關に妻と子供が立っている。おつ、僕が帰ってくるのを迎えているのかと思いきや「ムカデ」が家を出たとの事。もうこんな季節か、いやだなと思い一応家の周りを一周見回ったところ、家の壁の上の方に黒い昆虫がいるではないか。ゴキブリかと思いつく懐中電灯で照らしよく見てみると、クワガタ虫がいるではないか！虫とりアミがなかったので、物干し竿で突っついたところボロと落ちてくるではないか。落ちたクワガタ虫を早速捕まえ我が家族を迎える事としました。今もクワガタと虫がこの中でお食事中です。

投稿者 清水 晶史

地震

今朝(2003/09/26)北海道沖で発生した地震で目が覚めました。凄く揺れました。心臓に悪いです...

投稿者 平成三年夜間電波卒 大川秀康

指文字のプログラム

今回、指文字のプログラムを作ってみました

言のく者の通訳研修にろう者が積極的に参加しているのが印象に残りいつもの手話関係のプログラムではなく指文字を制作しました。

他には、「モールス信号をおぼえよう」も作ってみました。モールス信号は筋萎縮性側索硬化症(ALS)の人のコミュニケーションを確保するのに使えます。またその転用で言うろう者にも使える可能性もあります。



『校友会沖縄支部発足33年』

校友会沖縄支部担当 堀内 豊

昭和四十六年に校友会沖縄支部が発足し33年の年月が過ぎよつとして、沖縄支部は校友会支部として2番目に発足した老舗的存在でもあり、昭和32年に初の沖縄県出身の卒業生を社会に送り出した。以来、約70名の卒業生が実社会で活躍している。

卒業生の皆さんは、航空局・海上保安庁をはじめNHK、NIT、琉球放送、沖縄電力などで、情報・通信あるいは電気の技術者として広く社会に貢献している。

「うちなーんちゅう（沖縄人）が沖縄を出て、やまと（本土）に行くのは大変さあ。」

沖縄出身者が沖縄を出て本土に行くことは、風土・生活環境の違い、経済的問題など、沢山の問題があり、なかなか容易なことではない。生活環境の



面について言えば、年間を通して温度の差が小さい温暖な気候ということもあって、時間的観念がややラフな面がある。なお、その理由のひとつとして、沖縄には電車が走っていないこともあると思つ。唯一走っているのは「ゆいれーる（沖縄都市モノレール）」と呼ばれる昨年八月より那覇空港 首里間に開業したモノレールのみで、交通機関といえは自動車・バイク・バスを使った移動が中心となる。このため朝夕は連日、自動車の大交通渋滞、このため時間通りに移動するのは難しい状況である。

工学院における沖縄出身者の卒業生の数が37名と過去最多の昭和五十年頃、経済的に厳しい時代があった。名古屋に行つて資格を取れば、航空局や海上保安庁に入れると、夢多き時代でもあった。最近の社会情勢や経済的な変化から、沖縄から本土に出る人が年々減つていく。私達は、一人でも多くの入学生を迎え、社会に通用する「うちなーんちゅう技術者」を育てて行きたいものだ。

九月十三日に支部役員の方々のお骨折りにより、平成十五年度沖縄支部総会が那覇市（能登の海）にて実施することができた。折しも、最大瞬間風速70メートルという宮古島台風14号の到来により一時は開催が危ぶまれたが、台風は幸いにも本島を逸れ、開催することができた。

上原支部長のかけ声により会が始まった。当日は、勤務と重なり時間の都合がつかなかったり、台風接近により若干出席は悪かった。しかし、8名の卒業生の出席をいただき、短い時間ではあったが、新聞奨学生をやつた思い出、寮生活、校舎のこと、お世話になつた恩師の先生方の動向など母校における思い出を語り、お互いの情報交換の場とすることができた。年代や卒業学科が違つても共通の話題は多く、学校の近くの喫茶店「ロマン」で昼食を食べた話は、不思議に共通の話題として盛り上がり、時間が過ぎるのも忘れ語り合った。

今回の再会を約束し、会を終えた。



編集後記

「道半ばにして、死なずや」
前世代の俳優、宇野重吉さんの言葉である。

『人生は戻れない』、自明のことだが、我々凡人には理解し難い言葉だ。選はなかつた人生を悔やむのが、通例である。宇野さんが言う。「今の人生は、たまに選んだのだから、と考えると不安になる。悔やみもする。そこで、選はなかつた人生は自分のものではないのだから、と考える。・・・」

七十代にして、新しいことを始める。どつせ中途で終るから、と自ら尻つぼみにする必要はない。道半ばで死んでも、一度きりの人生、失敗も成功も自分の人生だ。」

自分の『人生』を嫌えば、人生は貴方に非協力的な態度をとるよつになる。自分の人生を愛し、大切にすれば、貴方に前向きな方向を示してくれるはずだ。

本校で勉強した過去も、あなたの人生の一部だと思つ。後戻りができない人生なら、嫌つことなく、大切な思い出として大事にして欲しい。

母校はいつでも「独座大雄峰」、どんな事にも前向きに。(善)

